

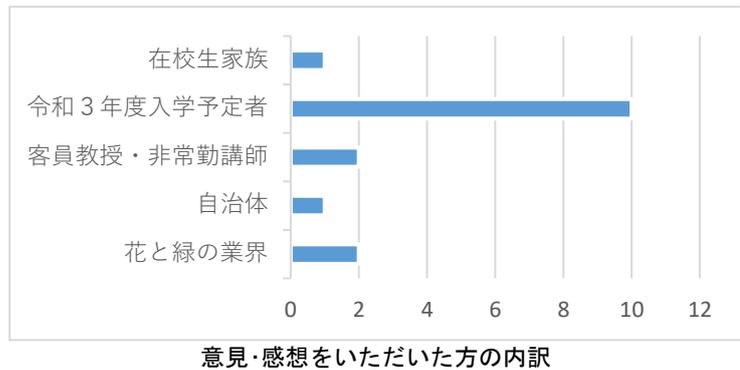
# 令和2年度岐阜県立国際園芸アカデミー活動成果報告会 アンケート結果

標記報告会をオンラインで視聴いただいた方から意見・感想をいただきました

## 1 意見・感想をいただいた方の人数及び内訳

16人

(参考：オンラインに  
参加した端末数36)



## 2 主な意見・感想

- ・ このような発表会や報告会を経験するアウトプットのスキルも高く、専門知識の学びだけにとどまらず専門知識を身に付ける為の基礎もしっかり学んでいると理解した。  
(人)
- ・ 2年間といった短い学習期間の中で、マイクロ寄せ植えや桜鉢物の商品化や、葬儀花祭壇の制作等多くの実習及び実践の場を経験していることを感じた。
- ・ 花の現場は慣例的な流れや個々の経験に頼りがちであるが、作業の分析や工夫をくり返す事により、効率化やスキルアップ・連帯感を深める事を進めていく事が必要であると改めて感じ、有益なテーマを選択されたと思う。発表用の資料はよく整理され、簡潔な文章と写真がビジュアル化されてわかり易く、素早く明確に伝わった。
- ・ 岐阜県代表として全国大会に出場するなど、卒業制作などの各個人の知識や技術のレベルがとても高く、充実した学生生活を送っていることが伝わってきた。
- ・ 教員方からの概要報告で3つの学科のくわしい所まで知ることができた。また、先輩方の発表を聞いてどの学科もすごく魅力的だった。
- ・ 造園緑化コースの方の発表では、全体をみて、指示を出すことの重要性や、来場者の喜ぶポイントの話など、実践によって気づく点について述べられていたことが印象的だった。
- ・ 卒業生からの報告では、実際に担当した庭の写真がみられたため、仕事のイメージがより、鮮明になった。